

新潟本社行動計画の取り組み状況について



2019年 12月 23日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

目次

1. 安全性向上の取り組み
2. 運営体制の構築の取り組み **update**
3. 防災支援の取り組み
 - ① 緊急時の初動体制
 - ② 新潟県原子力防災訓練への参加 **NEW**
4. 地域貢献の取り組み
 - 地域行事への参加 **update**
5. 傾聴と対話の取り組み
 - ① コミュニケーションブース **update**
 - ② 全戸訪問 **update**
 - ③ 地域の皆さまへの説明会
 - ④ トークサロン **update**
 - ⑤ 発電所視察対応 **update**
 - ⑥ 広告 **update**

1. 安全性向上の取り組み（1/3）

概要

- 「安全意識」「技術力」「対話力」を向上させるため、原子力安全改革プランを実行
- 新規制基準適合性審査（以下、審査）への真摯な対応
- 福島第一原子力発電所事故の反省を踏まえた安全対策の着実な実施
※個別具体的な取り組み状況について、原子力安全改革プラン進捗報告にて定期的に報告

主な取り組み

<事故を防ぐ>

- 福島第一原子力発電所事故の反省と教訓を踏まえた、自主的な安全対策を実施
- 綿密な断層調査による活動性評価及び保守的な基準地震動の策定
- 厳格な審査を通じた、更なる安全性向上と継続的な改善



<止める（事故対応の技術的能力の向上）>

- 事故対応時に迅速・的確な意志決定が図られるよう、米国などの緊急時対応体制である、ICS（災害時現場指揮システム）の考え方を導入
- 過酷な状況を想定し、さまざまなシナリオによる訓練を継続的に実施し、技術的能力を向上



1. 安全性向上の取り組み (2/3)

主な取り組み

<冷やす>

- 電源喪失時も原子炉の冷却が可能となるよう、高圧代替注水設備の設置、消防車や大容量送水車の配備等、冷やす機能を多様化、多重化



<放射性物質を閉じ込める・減らす>

- 既存の除熱システムに加えて、圧力容器と格納容器内の除熱が可能な「新除熱システム」を開発し設置
審査では、フィルタベントと同等以上の効果があり、ベントに優先して使用すべき設備として評価され、他のBWRプラントにも設置を義務付け
- 万が一のベントに備え、放射性物質の放出を大幅に低減するフィルタベント装置を設置



1. 安全性向上の取り組み (3/3)

＜災害対策支援拠点の整備＞

- 原子力発電所の災害対策（事故の収束や拡大防止）を支援するため、必要な資機材を保管・調達し、発電所へ送り出したり、対応要員の往來を管理するための拠点
- 現在、当社では、柏崎エネルギーホール、信濃川電力所、当間高原リゾートの3拠点を整備
- 上記に加え、発電所から北東方向の出雲崎町にも支援拠点を整備し、多重化することで、支援活動の強化を図る（整備完了目標は2020年1月頃を予定）



2. 運営体制の構築の取り組み（1/2）

概要

- 新潟本社の設置
- 原子力事業の社内カンパニー化を予定
- 新潟県知事の掲げる3つの検証へのご協力

主な取り組み

- 2015年4月、新潟本社設立
 - 県内全域における広聴・広報活動や原子力災害時の避難支援策の検討・実施
- 2018年3月、新潟本社行動計画を策定し、活動拠点として、柏崎市内に「まもる・そなえる・こたえる」オフィスを開設
- 2019年4月、新潟県の皆さまとのコミュニケーション活動をより強化していくため、柏崎市内のカムフィー2階に地域対応業務の拠点として新たにオフィスを開設
 - 「まもる・そなえる・こたえる」オフィスを拠点としていた地域対応要員が、同オフィスへ移転。さらに、フリーアドレスを導入し、新潟本部や発電所内の地域活動要員も利用
 - 広聴活動で得られた地域の声を活かし、地元目線の取り組みを充実させていく

<まもる・そなえる・こたえるオフィス>



<カムフィー>



<3つの検証へのご協力>

新潟県の皆さまの安全・安心のためにも、新潟県が進めている検証作業は重要なことであると考えており、最大限のご協力をさせていただきます

■新潟県技術委員会へのご説明

○発電所視察を含め、これまでに36回実施

- ・2019年9月6日 技術委員会委員の皆さまに、柏崎刈羽原子力発電所において、福島第一原子力発電所事故を受けて新たに整備した安全対策設備の概要をご説明した後、実際に現場で設備をご確認いただいた

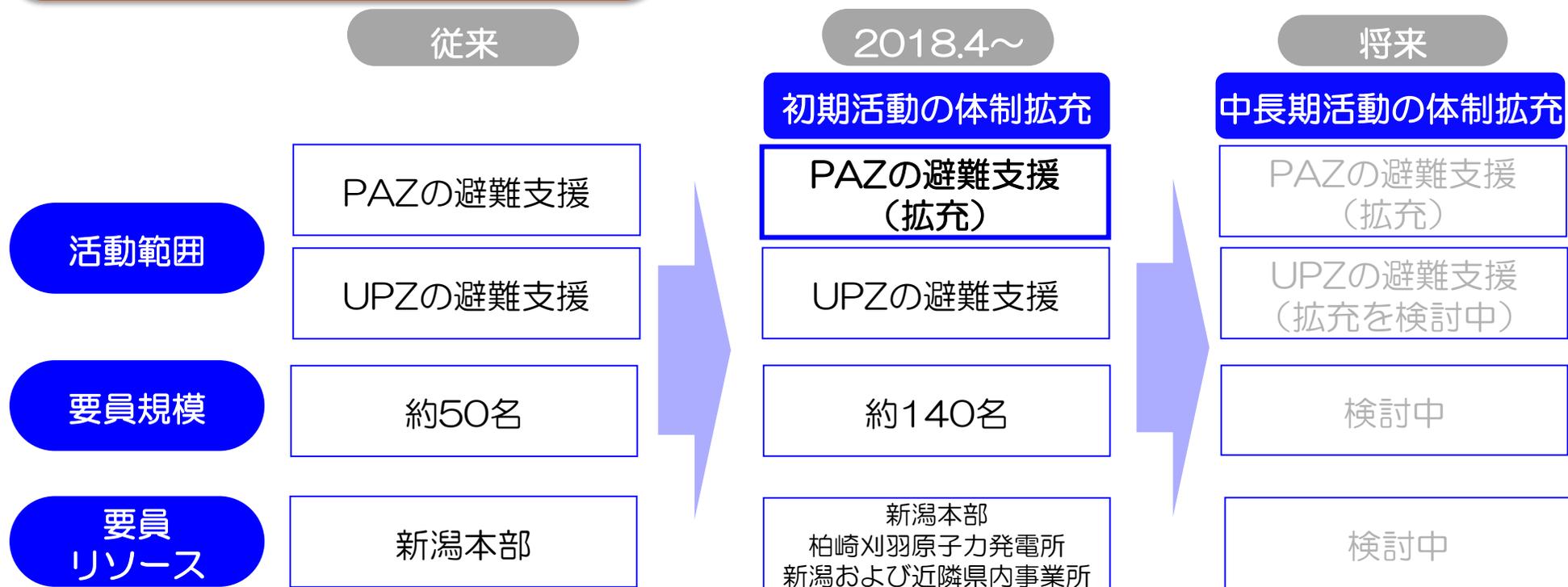
■新潟県避難委員会へのご説明

○発電所視察を含め、これまでに4回実施

3. 防災支援の取り組み ① 緊急時の初動体制（1/2）

- 「避難支援チーム」を、2018年4月1日から、新潟本部、柏崎刈羽原子力発電所、新潟県域および近隣県内事業所との協働体制を確立することにより、初動要員を約140名体制へと増員。また、防災や避難支援業務を専門とする社員が柏崎市内に常駐
- これにより、概ね5km圏内(PAZ)の避難支援を行う初期活動の体制を拡充
- 更に、概ね30km圏内(UPZ)の避難支援活動の体制の拡充についても検討中

「避難支援チーム」の増強（緊急時）



3. 防災支援の取り組み ① 緊急時の初動体制 (2/2)

緊急時における初期活動(PAZの避難支援)の体制

- 約140名による初期活動の体制に拡充
- 今後、訓練を重ねてクイック&パワーアップを実現

→ 要員の動き

UPZ(概ね30km圏)

村上方面
避難経路所

新潟本部

PAZ(概ね5km圏)

柏崎刈羽原子力発電所

福祉施設・病院

「まもる・そなえる・こたえる」
オフィス

湯沢方面
避難経路所

妙高・糸魚川方面
避難経路所

新潟および近隣県内事業所

| | 活動内容 | 要員 リソース |
|------|---|-------------------------|
| 初期活動 | ①介護を必要とされる方々の 避難支援 (福祉車両・バス等の運転、移動 介助) | 新潟本部、 柏崎刈羽 原子力発電所 |
| | ②福祉施設・病院 (屋内退避施設)の運営支援 (介護補助、物資補給) | |
| | ③PAZ避難経路所の運営支援 (開設、案内・介助、車両誘導) | 新潟および 近隣県内 事業所 |

<介護技術講習>



<福祉車両>



3. 防災支援の取り組み ② 新潟県原子力防災訓練への参加

- 新潟県が開催した原子力防災訓練（2019年11月8日・9日）に参加
- 当社からは約150名の社員が参加し、自治体への発電所状況の情報伝達や当社福祉車両による要配慮者の避難支援などの訓練を実施

| | 訓練項目（当社参加分） | 当社実施内容 |
|---------|--------------------|------------------------------------|
| 本部運営訓練等 | 新潟県災害対策本部等における運営訓練 | 新潟県災害対策本部等への発電所情報等の伝達 |
| | 現地災害対策本部における運営訓練 | 柏崎刈羽原子力防災センターへの発電所情報等の伝達 |
| | 緊急時の通信連絡訓練 | 自治体等関係箇所への通報連絡文のFAX |
| | 緊急時のモニタリング訓練 | UPZ圏内の放射線モニタリング |
| | 道路啓開等関係機関による個別訓練 | 消防と連携し、柏崎刈羽原子力発電所内での傷病者を救急車で搬送 |
| 住民避難訓練等 | PAZ内の要配慮者搬送訓練 | PAZ内の社会福祉施設における、当社福祉車両による要配慮者の避難支援 |
| | PAZ内住民の避難訓練 | 広域避難時の避難経由所における自治体支援 |
| | スクリーニング・簡易除染訓練 | UPZ圏内の住民および避難車両のスクリーニング |



< 発電所情報の伝達 >



< 当社福祉車両による避難支援 >

＜2019/9/5～12/22の実績＞

| 地域行事 | 実施日 | 作業内容 | 参加者数 |
|---------------------|--------------|--------------------------------|------|
| 段丘さくら草刈り | 9/6 | 津南町に植樹している「段丘さくら」周辺の除草作業 | 4名 |
| 柏崎・夢の森公園「森づくり活動」 | 9/7 | 西の丘の下草刈り、カキツバタの種まき | 1名 |
| かしわざき たかだ竹あかり | 9/21 | 会場の装飾、設営、巡回 会場内で販売する食べ物の仕込み | 2名 |
| 松波町民大運動会（鯖石川改修記念公園） | 9/22 | 各種競技に選手として参加 | 5名 |
| ながおか縄文の丘マラソン | 9/23 | 会場設営、走路誘導 | 10名 |
| 柏崎刈羽中学校駅伝競走大会 | 9/27 | 走路員 | 6名 |
| 荒浜21フォーラム地域活動 | 9/28 | 柏崎市荒浜地区内の除草、砂取り作業 | 11名 |
| 栄村・秋山郷 夢灯（ゆめほ） | 9/28 9/29 | 会場設営、片付け作業、清掃作業 | 4名 |

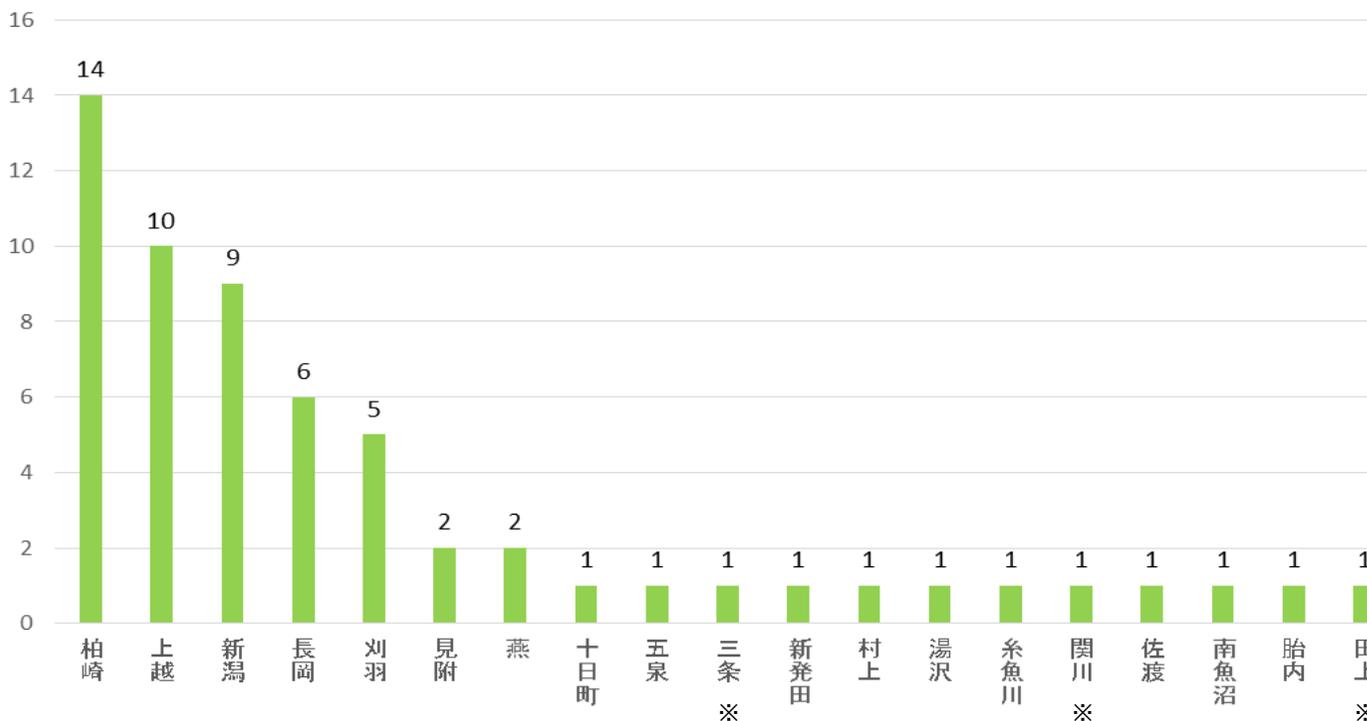
<2019/9/5~12/22の実績>

| 地域行事 | 実施日 | 作業内容 | 参加者数 |
|---|----------------|----------------------------|------|
| 越後湯沢秋桜ハーフマラソン | 9/29 | 給水スタッフ要員 | 12名 |
| 魚野川河川清掃 (魚沼漁協) | 10/6 | 塩沢地区のゴミ拾いなど | 3名 |
| 小千谷トリム・ウォーキング大会 | 10/14 | 会場設営、走路誘導 | 6名 |
| NPO法人チャレンジ夢クラブ秋季さわやかウォーキング大会 (西山) | 10/20 | 会場設営、受付、交通誘導 | 2名 |
| 柏崎マラソン | 10/27 | 走路、駐車場の誘導 | 16名 |
| 柏崎・夢の森公園「森づくり活動」 | 11/9 | カキツバタの苗づくり、ほだ木製作 | 1名 |
| うわっと！柏崎 in おかちまちパンダ広場 (柏崎観光協会 首都圏PRイベント) | 11/23 11/24 | 来場者誘導、販売補助、 会場内のゴミ分別、運搬 | 15名 |

実施内容

- 新潟県内において「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、県内の皆さまからの疑問やご意見をお聴きするとともに、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の取り組み等をわかりやすくご紹介しております。また、パネル展示やVR（バーチャルリアリティ）等を通じて発電所で講じている安全対策や放射線など原子力発電全般に関する質問にお答えするとともに、さまざまな「声」をお聴きしております。

開催回数（合計63回）



コミュニケーションブースの開催エリア



※2つの市町村を対象として「声」をお聴きしているブースがあるため、開催回数とグラフの合計値は異なります。

（2019年12月22日 現在）

- 東京電力コミュニケーションブースでは、パネルや模型の展示を通して、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等に対するご質問にお答えしております。また、VRを活用して、臨場感ある映像で発電所にいるような体験もしていただいております。
- これまでに63回開催、累計14,711人の方にお越しいただき、多くの「声」をお聴きしました。

<前回会見 (2019/9/5) 以降の実績>

| 開催エリア | 開催場所 | 開催日 | 来場者数 |
|-------|-----------------------------|-------------|-------|
| 新潟市 | アピタ新潟亀田店 1階正面中央催事場 | 10/3~10/7 | 1186名 |
| 湯沢町 | 駒子の湯 屋外特設テント 岩の湯 屋外特設テント | 10/25~10/28 | 141名 |
| 津南町 | 信濃川発電所 建屋1階 | 11/2 | 229名 |
| 新潟市 | イオンモール新潟南 3階デザート王国前 | 12/6~12/8 | 641名 |

<新潟 (アピタ) ブース>



<湯沢ブース>



<津南ブース>



<新潟 (イオン) ブース>



<新潟市、湯沢町、津南町で開催したコミュニケーションブースでいただいた声>

| 声の分類 | 内容 |
|---------|--|
| 安全対策 | <ul style="list-style-type: none">・福島第一原子力発電所事故の反省をしっかりと、安全最優先で取り組んで欲しい。・原子力発電所はこわいイメージだったが、VRの安全対策を見て、イメージが良くなった。 |
| エネルギー事情 | <ul style="list-style-type: none">・エネルギーのベストミックスについて聞いた時に、原子力発電も必要かもしれないと感じた。・原子力発電をこわがるだけでなく、日本の将来のことを考える必要がある。 |
| 原子力発電関係 | <ul style="list-style-type: none">・原子力発電の重要性については、皆がある程度理解していると思うが、放射線の問題があり危険なイメージが強い。再稼働には反対。・原子力発電は事故がこわいが、CO₂のことを考えると火力発電ばかり頼ってられない。安全に事故なく運転できるなら、再稼働もありだと思う。電気がない暮らしは考えられない。 |
| ブース関連 | <ul style="list-style-type: none">・出張して説明する事は良い取り組みだと思う。地道な活動ですが頑張ってください。・村上で20年育ち、水力発電の仕組みは熟知している。火力発電の事も何となくわかっていたが、原子力発電については構造が全く不明のままずっとモヤモヤしていた。テレビで福島第一原子力発電所の報道が出てよく理解出来なかったが、今回、長年の疑問点が大体解消されたので、来てよかった。 |
| その他ご意見 | <ul style="list-style-type: none">・東京の人たちに電源立地のことをよく説明してほしい。 |

5. 傾聴と対話の取り組み ② 全戸訪問

- 新潟本社の社員が柏崎市、刈羽村の皆さまのお住まいを訪問させていただき、ご意見やご要望を傾聴する訪問活動を実施しています。
- 2019年度は、地域の皆さまに直接お会いして、お気持ちを伺うことを通じ、地域の皆さまとの関わりを考えながら業務に取り組む意識を高めていけるよう、発電所員全員が訪問させていただきました。

訪問実績

- 第1回目 2015年6月～9月
- 第2回目 2016年5月～9月
- 第3回目 2017年5月～9月
- 第4回目 2018年8月～12月

2019年度の訪問実績（速報）

- 第5回目 2019年8月28日～12月8日
 ※11月21日～12月8日は、ご不在宅の再訪問を実施

| | |
|----|----------|
| 在宅 | 約21,800件 |
| 不在 | 約10,700件 |

いただいたご意見については現在集約中

<訪問予定地域の周知チラシ>

柏崎市・刈羽村にお住まいの皆さまへ **atom**

料金後納
ダウンロード

地域の皆さまへのご訪問について

当社では、一人でも多くの地域の皆さまにお会いし、原子力発電所に関するご意見等を伺いたく、8月から11月の間、柏崎市・刈羽村の各ご家庭を訪問させていただきます。

| 開始 | 終了 | 訪問エリア (町名：五十音順) |
|---------|---------|---|
| 8月28日 水 | 9月4日 水 | 柏崎市： 萩原、御前、錦町、西山町 (全て)、日石町、東本町 |
| 9月5日 木 | 9月11日 水 | 柏崎市： 荒浜、藤町、大湊、岩谷、高川、豊町、四谷 刈羽村： 村内全ての地区 |
| 9月12日 木 | 9月18日 水 | 柏崎市： 上原、宇田、倉部、土合、土合新田、長崎、長崎新田、西本町、西浦町、東原町、東浦町、松波、山本 |
| 9月19日 木 | 9月25日 水 | 柏崎市： 宇野、宇町、宝町、田中、橋本町、原町、藤元町、北斗町、福原町、松浜、橋田町 |
| 9月26日 木 | 10月2日 水 | 柏崎市： 安藤町、大久保、北瀬町、栄町、桜木町、新橋、新花町、中央町、中沢、善神 |

※天候等により、訪問日が変更になる場合がございます。

〒941-8790
 柏崎市 刈羽1-6番地46
 東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部 行

お名前 姓 名
 〒 市 区 町 丁目 番 号
 電話番号
 性別 男 女

〒941-8790
 柏崎市 刈羽1-6番地46
 東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部 行

97

高田もご覧下さい

いただいた個人情報は、適切に管理いたします

5. 傾聴と対話の取り組み ③ 地域の皆さまへの説明会

- 柏崎市と刈羽村において、地域の皆さまからのご意見を伺い、発電所の状況や当社の取り組みをお伝えする貴重な場として「地域の皆さまへの説明会」を実施しております。

開催実績（新潟本社設立以降）

| 日時 | 場所 | 参加者数 |
|------------|-----------------|------|
| 2015/6/8 | 刈羽村生涯学習センター ラピカ | 64名 |
| 2015/6/9 | 柏崎市産業文化会館 | 128名 |
| 2015/12/21 | 柏崎市産業文化会館 | 128名 |
| 2015/12/22 | 刈羽村農村環境改善センター | 44名 |
| 2016/9/13 | 柏崎市市民プラザ | 79名 |
| 2016/9/14 | 刈羽村 高町地区集会場 | 24名 |
| 2018/1/30 | 柏崎市産業文化会館 | 98名 |
| 2018/1/31 | 刈羽村生涯学習センター ラピカ | 52名 |



- 柏崎刈羽原子力発電所の立地地域にお住まいの女性や子育てをされている方々を対象として、年間を通してトークサロンやカルチャー教室を実施しております。
- 発電所の取り組みをお伝えするとともに、立地地域の皆さまと新潟本社職員との対話活動を実施しております。

開催実績（2019年度）

| 時 期 | 場 所 | 主な内容 | 参加者数 |
|---------|------------|---|------|
| 2019.5 | 柏崎エネルギーホール | <ul style="list-style-type: none"> ・トークサロン ・カルチャー教室 | 23名 |
| 2019.6 | 柏崎エネルギーホール | <ul style="list-style-type: none"> ・トークサロン ・カルチャー教室 | 24名 |
| 2019.8 | 柏崎エネルギーホール | <ul style="list-style-type: none"> ・トークサロン ・カルチャー教室 | 42名 |
| 2019.9 | 柏崎市市民プラザ | <ul style="list-style-type: none"> ・トークサロン ・カルチャー教室 | 21名 |
| 2019.11 | 柏崎エネルギーホール | <ul style="list-style-type: none"> ・トークサロン ・カルチャー教室 | 28名 |



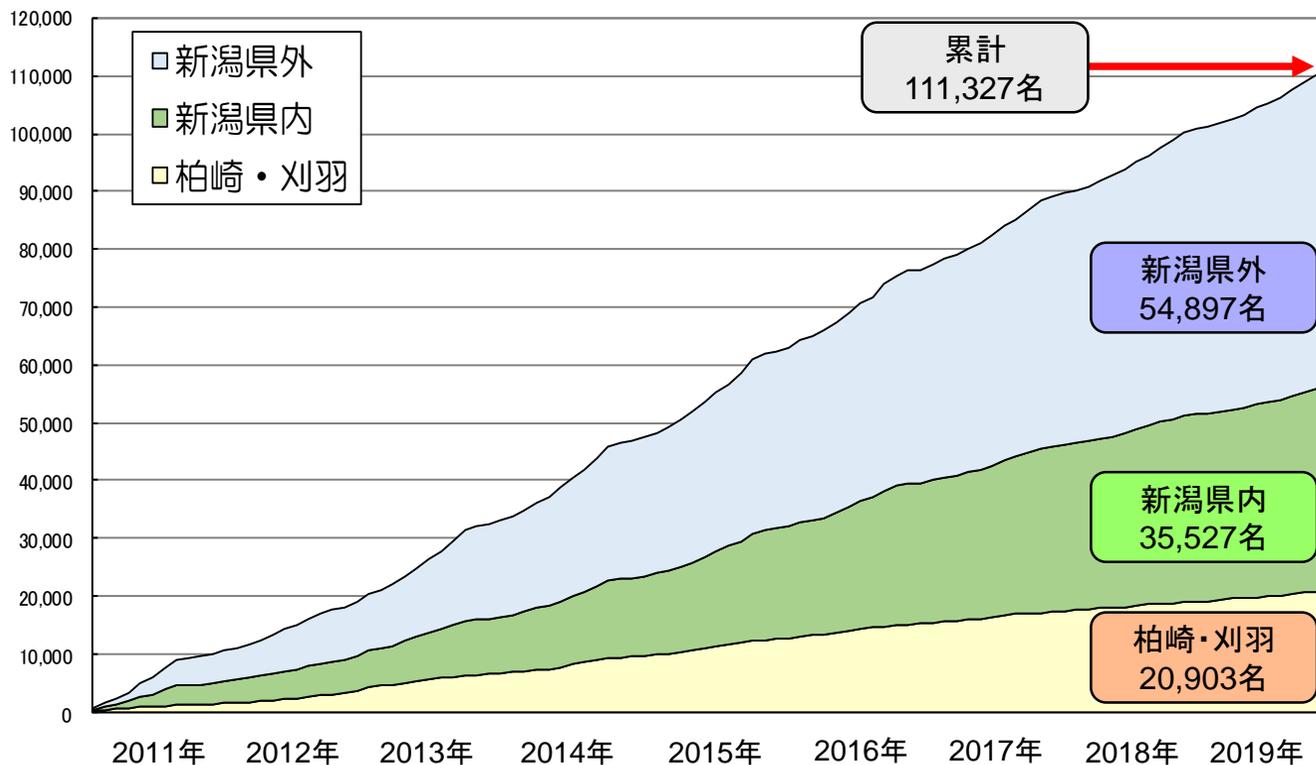
トークサロン



カルチャー教室

- 新潟県内をはじめ、多くの皆さまに、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、取り組みを進めている柏崎刈羽原子力発電所の安全対策などをご視察いただいております。

発電所視察者数



【防潮堤（5～7号機側）】



【貯水池】



5. 傾聴と対話の取り組み ⑥ 広告

- 福島第一原子力発電所事故の反省と教訓を踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策や当社の取り組み等を、新潟県内の一人でも多くの皆さまにお伝えするため、各メディアを通じた広告を実施しております。
- ・ 新潟県内のテレビ各局、ラジオ各局において柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等をお伝えするCMを放送中です。
- ・ 地震や雨雲・雷雲、災害時の避難場所など暮らしに役立つ情報をお知らせするスマートフォン向けアプリ「TEPCO速報」の新聞広告・WEB広告を実施しております。

地震・雨雲・雷雲・
災害時マップなど
暮らしに役立つ情報満載!

[TEPCO公式無料アプリ]

TEPCO速報

大切な人を見守りたいあなたに

地域登録 帰れて暮らすご家族やご友人などの地域情報を
プッシュ通知でお知らせします。

詳しくはこちら **TEPCO速報**
http://www.tepco.co.jp/info/sp_app.html

雨雲・雷雲情報
地震情報
災害時マップ

TEPCO

【お問い合わせ先】 東京電力ホールディングス新潟本社
TEL:025-283-7461 / 9:00-17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

TEPCO速報（新聞広告）



TEPCO速報（WEB広告「似てない父娘篇」）